

■ 第 63 回公園審での主な意見への対応

(平成 30 年 3 月 26 日開催)

基本方針の「視点」等	主 な 意 見	対 応
全般	○公園のもつ「グリーンインフラ機能」を生かした整備の方向が重要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・「法令等の動き」(P. 9-10) →国土形成計画及び第 4 次社会資本整備重点計画における「グリーンインフラ」に係る記載を追記。
	○「グリーンインフラ」は良い視点である。グリーンインフラという言葉を取り入れることは議論があると思うが、今後の公園を考えた時に大事になってくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「4-3 「整備」と「管理・運営」の基本的な考え方」(P. 41) →生物の生息の場の提供など、グリーンインフラとしての視点も踏まえるという記載を追記。
	○グリーンインフラ体系をどのように保全、整備に取り入れるか、計画論ベースでも見えていないところ。グリーンインフラに関しては、まだ、現実性が実感できない状況と思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・「法令等の動き」(P. 9-10) →持続可能な開発の目標 (SDGs) について、国連サミットでの採択などに係る記載を追記。
	○SDGs が捉えられていない。法改正のところが細く書かれていることを鑑みると、背景のところに社会情勢の 1 つの動きとして、SDGs がある程度追い風としてあるということを書かないといけない。民間企業との連携という意味からも入れるべき。	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、民間との連携については、「⑩民間活力の活用(Park-PFI等の活用)」(P. 35)にCSRに係る記載を追記。
	○今、社会的な背景のところで、SDGs の話がどこでも出てくるが、経済と社会という側面でどのような取り組みをしていけばいいのか内部化できていない。 ・国内的に見るとピントがあっていないのではないか。 ・この県立都市公園の方針の中、それをどこでどのように入れればいいのかと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題 3 サービス水準の確保と更なる向上」(P. 15) →多様な主体として「県民やNPO、民間事業者」との連携に係る記載を追記。 ・その他、民間事業者との連携については、「⑩連携の多様化」(P. 34)、「⑩民間活力の活用(Park-PFI等の活用)」(P. 35)、「⑩連携のための仕組みの推進」(P. 36)に記載あり。
視点Ⅳ	○地域活性化の推進のところで、観光や経済活性化だけでなく、地域のコミュニティの活性化という視点も入れた方がいい。	<ul style="list-style-type: none"> ・「⑩地域活性化の推進」(P. 29) →「地域コミュニティの活性化」に係る記載を追記。

<p>視点Ⅳ</p>	<p>○車の交通アクセスが書かれているが、高齢になると事故防止のため車を使う機会は少なくなり、公共交通が重要となる。最寄り駅の情報や公園までのルートを見やすくしてもらいたい。</p> <p>・車の渋滞のため、電車で行くことは必要な選択肢である。バスへの乗り継ぎがスムーズにできるよう、また、情報発信として鉄道との連携を考えてほしい。</p>	<p>・「⑫周辺施設や地域資源とのネットワーク」(P. 28) →わかりやすいホームページやパンフレットの案内の充実に係る記載を追記。</p> <p>・「⑰広報、情報発信等の工夫」(P. 33) →ホームページやパンフレットの案内の充実に係る記載を追記。</p>
<p>視点Ⅴ</p>	<p>○明治記念の大磯邸園の記載があった。このような遺産が都市の中にあって、利活用しながら残していくことが、観光という側面からも大切なので、さらに検討を進めるべき。</p>	<p>・「⑬地域活性化の推進」(P. 29) →観光振興に係る記載を追記。</p> <p>・その他、「⑳国と連携したみどりの拠点整備」(P. 40)に、「観光振興」について記載有り。</p>
<p>○質の高いサービスの提供という視点を、指定管理者だけでなく、県の中に入れていくことが必要。</p>	<p>・「⑯ニーズ把握を踏まえた施設・サービスの充実」(P. 32) →「質の高いサービスの提供」をめざすという記載に修正。</p> <p>・「⑮指定管理者制度の効果的運用」(P. 31) →「県が質の高いサービスを提供するために活用する、指定管理事業の手法」という記載に修正。</p>	
<p>○既存公園の再生のところで、公園に再投資することが、地域活性化にもつながるといって、既存公園の再生を論じないといけない。</p>	<p>・「㉒公園再生の着実な推進」(P. 38) →「地域再生、地域活性化の視点」に係る記載を追記。</p>	
<p>○「最も少ない投資で最大の効果をあげられるようにする」とあるが、必要なところには必要な投資をし、必要のないところには投資を少なくするような強弱は必要だろう。このような表現は自らを苦しくさせるものだと思うので、変えたほうが良い。</p>	<p>・「㉒公園再生の着実な推進」(P. 38) →「選択と集中」という記載に修正。</p>	
<p>○宣伝という表現を、県として広報、情報発信というくらいに変えた方がいい。</p>	<p>・「⑰広報、情報発信等の工夫」(P. 33) →「宣伝」を「情報発信」に修正。</p> <p>・その他、同様にP. 17、31を修正。</p>	
<p>○サービスの提供について、より良いという表現も悪くないと思うが、目的から考えると、質の高いという表現のほうが良い。</p>	<p>・「施策の方向性(7)より良いサービスの提供」を「質の高いサービスの提供」に修正(P. 31)</p> <p>・その他、同様にP. 17を修正。</p>	